



第6号
 発行所
 東北地区屋外広告美術業組合連合会
 情報文化委員会
 事務局 TEL 022-257-0437

第17回東北六県公共キャンペーン作品展 腕をふるって、この1枚に!!

建設大臣賞 福島 アイドマ企画

●期日 平成6年10月14~16日 3日間 ●会場 山形市 山形日産ギャラリー



審査講評

(株)アドビュロー デザイン部顧問 加藤 和夫 氏

六年前拝見した時にくらべ、特に水準の高いものになっているのに驚いた。素材の良質化、マシーンで抜いた文字・ロゴタイプ・マーク類の表現により、技術的には全体にきれいな仕上げになっていて、優秀つけがた作品ばかりで審査員を悩ませた。

常日ごろの研鑽の賜であり、賞賛すべき成果である。

少々気になったことを述べてみよう。

機械化されて、文字の表現が画一化されがちであり、ファミリー(書体)の選択や、個性のあるフリースタイルの文字をもっと積極的に使用するなどの研究が必要ではなからうか。これはマシンの利便性がもたらした影響であろうか。

「夢のあるサイン、心豊かな街づくり」のスローガンにふさわしい作品かどうかを中心に審査を進めたのが、屋外用パネルということを考えてみると、作者は展示場所を仮想した上での制作であったと思うが、グラフィック的なレイアウトにこだわりすぎて、文字が小さく読みにくくなっているものが多くあった。動く人達がどれだけ目をうばわれ読んでもくれるか疑問である。あくまでも屋外広告だということを念頭に置く必要がある。

日常の作業と違い、時間や経費の制約のない展覧会用であるだけに一考を要したい。環境をもっと豊かで楽しく、美しいものにしていくことに、みんなの力をもっと役立てたい——と願っている。

建設大臣賞 「んだ!!」

「んだ!!」
 ずばり「方言をメインに出して郷土愛が伝わってくる。ふるさとへの誇りがうれしい。レイアウトや色調も良く、仕事がきれい。立体的な構成もほどよく、好感のもてる作品である。」

日 広 連 賞 「大切にしたい」

「大切にしたい」
 すぐ街に出て活躍できる作品。ユーモラスに表現した野菜たちを登場させて、温かく主題を唱えている。レイアウトも良質、立体処理もうまく立体の必然性を感じさせる。

東北地区連合会会長賞 「節水」

「節水」
 日本全国で話題になったテーマ。なんとなく不気味な雰囲気をもつ作品だが、技術的に抜群。自然の怖さを感じてくる。左上に天気予報のサインを天地逆に扱ったが、見る人はどう解釈してくれるかが気になる。立ちどまって見ていただけるものに仕上がって成功。

山広美のすがた

山形県屋外広告美術協同組合

理事長 田中滋郎

平成七年の新しい年を迎え、本年もよろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

顧みますと、昨年は国内での変動が目ざましく、政治面では三人の首相の交代があり、又小選挙区法の成立、経済面では円の最高値を記録し、又我々業界にも関連性のあるPL法(製造物責任法)が成立し、企業の自己責任が従来にも増して厳しくなる感じですが、

そして国内各地では猛暑による水不足千ばつの被害を生じ、各分野にわたる事象は記憶に残ります。幸い我が山形県は独自の風土が幸いし過少の被害にとどまりましたと思います。

山広美は購買事業収益により、会員相互親睦を主とし日広連・東北地区連・単組の事業に基づき活動を行い、業界が提唱している屋外広告業の確立に向



広告の日キャンペーン、チャリティ門標サービス

て活動をしている所です。景気回復も不透明でしたが自助努力で遂行した感じがいたしますし、購買事業も目標額を達成し、組合財源にも寄与しております。

東北地区連事業として山広美担当になりました、地区連合同会議・パネル展につきましては、地区連会長・役員・会員各位よりのご協力を賜りまして無事終了いたしました。厚くお礼を申し上げます。山広美青年部会員は独自の企画を立案し円滑に行っております。又東北大会・全国大会(観光)にも手伝いを要請し、東北地区連本年の最大の行事でもあり成功裡にと山広美会員一同に参加、協力を呼びかけております。山広美会員相互・英知を結集して組合活動を充実をはかって行きたいと思っております。



第5回ボーリング大会

“全国大会観光のすすめ” ―奥の細道・山形かけぬける―編

山広美広報室

阪神大震災、お悔みお見舞い申し上げます。

この期に観光旅行の案内とはどうも気が進まない。(自粛して義援金でも思うんだが今のところ計画通りらしい)松島遊覧後はバス旅行である。鳴子で休憩の後、間もなく山形に入る、難所中山峠、尿前の関を抜けると封人の家がある。蚤虱馬の尿する枕もと。途中赤倉温泉を左に入れば、山刀代峠を越え、芭蕉が最も長く泊った尾花沢市がある。花笠踊発祥の地である。

その先は天童、山寺だが明日のお楽しみとして、近みちをし先まわりをして最上川を下る。山形縦断の大河であり、その昔、山家より下り酒田港より北前船にて京、大阪と交易があつて今でも各地に京文化の名残りが散在する。五月雨をあつめて早し最上川。白糸の滝を見ながら休憩をとる。

羽黒山の宿坊で昼食の予定。精進料理を味わっていた。

出羽三山の一、羽黒山。今より一三〇〇余年前と言うから奈良朝時代である。崇峻天皇の第一皇子である蜂子皇子が事情あつて旅に出た。海路北上して由良海岸につく、三本足の黒鳥の導きで羽黒山についたとある。苦行のうちには羽黒の大神の出現を拝した、月山湯殿山に登り三山を開いたと言う。

山頂には東北唯一の皇族の墓があり、鎌倉將軍家の寄進になる重要文化財全国第四位の巨鐘もある、ふもとの黄金堂は源頼朝の建立したものである。

さて、隨身門をくぐって右手に滝を見、しばらくすすめば、国玉五重の塔樹齢一〇〇〇年の巨木榊杉が皆さんを迎えてくれます。ここで頭に兜巾をい

ただき、篠懸の衣を身につけ、金剛杖をつき、ほら目を吹き鳴らす山伏と一緒に記念撮影を行う予定です。

これより先は一の坂、二の坂、三の坂の急坂、石段である。入口より山頂まで二四四六段あり、少々きついが一・八kmであるから時間にして約1時間位か?

三の坂より右に入れば芭蕉ゆかりの地史跡南谷がある。有難や雪をかほらす南谷。

山頂の三山合祭殿は今回のように月山、湯殿山に登れない者のために建てられたと聞く、小休止のあと山頂よりバスに乗ります。芭蕉は鶴岡、酒田に向つたが我々はR112を山形方面に向います。朝日村のつり橋、パンジージャンプの公認大会や講習会などやっていけば、朝日ワインでも試食しながらの休憩、月山湖の一・二M噴水を見ての一ぶく、寒河江のチェリーランドではおみやげが待っています(いっぱい買ってね)サクラランポ園に入れたら最高! 少々早いかも? みちのく特急バスは天童温泉に着く。山広美会員の歓迎をご期待下さい。カネや太鼓や花笠おどりゆっくり楽しんで下さい。

最終日は慈覚大師開基と言われる、山寺! この参道またしても石段一〇〇段を往復していただく。閑かさや岩にしみ入る蟬の声。

立石寺、五大堂など山全体が荘厳である。山形道に入り仙台城跡に向う。山形との出会いをどう期待しますか?

最上川の流れ、羽黒の尊さと修験のきびしさ、山寺の華麗さと、それにもまして山広美会の歓待、出来ればサクラランボ等満喫いただきたい。

光に彩られる豊かな未来を目指して35年

看板資材のことならおまかせください。

お客様のご要望におこたえし みなさまのご相談に応じます

1995年のテーマは「発想と創造」

株式会社 光彩塗料商会

本社	〒983 仙台市宮城野区東仙台四丁目3番43号 TEL (022) 293-3151(代) FAX (022) 293-3154
多賀城営業所	〒985 多賀城市中央三丁目7番5号 TEL (022) 364-2921(代) FAX (022) 364-2046
福島原町店	〒975 福島県原町市朱来字出口63番の3 TEL (0244) 22-2836(代) FAX (0244) 22-2875

全国大会のこと

青森県屋外広告美術協同組合

理事長 千葉 裕

突然、会場が暗くなり、ざわめきが揺れるなかに何とも優雅な音楽がながれた。舞台上にゆらゆらと幾つかの灯籠が一定の動きのなかでゆらめき、まわりが静かになった。

しばらく淡いあかりの舞が、異なる世界のもののように妖しく、美しく動きをみせた。やがて、明るさが次第に取り戻され、艶やかに着飾った娘達の頭上に紙で作られたであろう灯籠があった。二十数年前の、熊本での全国大会でのアトラクションである。この催は、熊本近郊の山鹿町街の灯籠祭のそれであると聞かされた。数々の大会の中で、私にとって一番印象に残っているコマである。もっとも、この大会が私にとって最初の大会参加であり、それだけに期待や、興味が大きかったこと、まだ感受性に不足していなかった若さを持つていたこと等が理由であろうけれども、それまであまり旅をしたこともなく、ましてや九州という我々北国の人間にとっては一種のエキゾシズムさえ感じる場所に在っての興奮であれば、さもありなんと自分に言い聞かせている。

そんな訳で、全国大会は私にとって甚だ不遜ではあるけれども、物見遊山そのもので始まったのである。その大会は今日とは異なって、観光は4泊だったと思う。霧島、宮崎、阿蘇、指宿など南九州の著名な観光地にはすべて立ち寄った。温泉の設備が大規模で、体育館のように大きい建物のなかに、南国特有の植物に被われた湯壺が点在していた。当時の私には目をみはるものであった。そのころは旧国鉄の時代であったが、特別に仕立てた所謂日広

である。

大会で訪れた所を思い起こせば、札幌、函館、盛岡、福島、東京、甲府、新潟、名古屋、横浜、静岡、名古屋、岐阜、長野、金沢、福井、富山、大阪、岡山、広島、山口、高知、愛媛、高松、福岡、熊本、那覇などである。

それぞれに、鮮明に記憶に残っていることがある。名古屋大会の新内流しや、金沢の芸伎の勢ぞろい、山口の屋外公園での懇親会(これは食べ物が無くなって大不評)、黒部、青海島、萩、

成功させよう第三十七回日広連全国大会

福島県屋外広告美術協同組合

理事長 遠藤 光晴

平成七年、今年もどのような世相ドラマが展開されますか定ではありません。然しバブル経済がはじけて以来、今日まで長期不況の中で多くの企業は厳しい試練に耐えておるのであります。今年こそ、その不況脱出への課題に効果的に取り組み相互の企業躍進を期したい、そんな目標に向かって努力したいものです。

私どもの業界団体であります「日広連」も昭和三十三年発足以来、幾多の厳しい団体活動の中で全国の諸先輩の献身的なご尽力を得て、現在の堅実な「日広連」を築きあげられたのであります。

いま回顧するとき昭和三十四年当時私は三十二歳の若輩者でした。箱根の小湧園において全国より一三七社の会員が一堂に集い、記念すべき第一回日広連全国大会が開催されました、将に本業界の全国組織の事実上のスタートを飾ったわけでありませう。

この初めての大会に参加して、若輩なる私は全国の同業の方々との出会いに胸を躍らせ緊張と喜びと期待感の交錯する中で、その感動に心の熱くなる

富士山等々印象深い各地を観光したことは勿論であるが、その地の組合員の熱意を常に感じてきた。自分達が歓迎するんだという意気込みにいつも感謝してきた。

二十年まえ、十年まえ、私達が担当した東北の大会は大方のご好評の中に終了した。今回も全国のみなさんに精いっぱい、楽しんで貰えるようみなさんのご奮闘をお願いすると共に、私も微力ながら出来る限りの努力する積りである。

のを覚えました。当時の記念写真を折り本当に懐かしく見ております。この日広連の組織の中で活躍された諸先輩の多くの方々が他界され三十年余の永い歳月をひしひしと感じられるこの頃であります。

年毎に開催される日広連全国大会には私も常に参加させて頂いておりますが、その都度かわる開催地の特色ある地域景観や社会風俗等どこか環境の異なる新分野を探究し、また多くの同業の方々との相互の語らひは私どもの企業に或いは人間形成に未知なる多くのものを見出すことが出来ました。その新たな感覚と更なる意欲をかりたて、下さる素晴らしい大会イベントであることは確かであります。

特に若い同業の皆様方には、このような大会に参加して全国各地の地域性による広告物や企業の実態等を同業先輩とのコミュニケーションの中で「目で見て」「耳で聴いて」全能を傾け、価値ある情報を収集して、新たな企業計画と、その開拓に向けて努力の出来る素晴らしい機会のあると思っております。

その日広連全国大会も東北地区連ホストとして過去には昭和四十年に第七回大会を宮城県のニュー鳴子ホテルで開催、昭和五十年に第十七回大会を福島市の福島市公会堂で開催、昭和六十年に第二十七回大会を盛岡市の岩手県民会館で開催と、十年毎に大会開催のホスト役を努めてきたわけでありませう。皆様すでにご承知のように今回も東北地区連が開催担当地区として第三十七回日広連全国大会を来る六月六日に宮城県の松島「大観荘」において開催のはこびとなったわけでありませう。

その全国大会を目前にして東北地区連会長を要として、それ等開催準備に拍車をかけておるところであります。特に宮城広美の皆さんは本当にご苦労なさっておるものと思ひます。

この第三十七回日広連全国大会開催地元であります東北地区連の皆様共ども、全員参加協力の心意気をもって「みちのく東北」のイメージを、全国

の大会参加の皆様方に快いふれ合いの中で素晴らしい感動と、その喜びを贈り、本大会が終始大盛會裡にありますことを心より祈るものであります。

第三十七回

日広連全国大会 各担当委員長

大会準備担当	須賀 政雄 (宮城)
会場担当	狩野 寿一 (宮城)
懇親会担当	遠藤 光晴 (福島)
観光担当	田中 滋郎 (山形)
ゴルフ担当	千葉 裕 (青森)
事務局担当	石黒 征幸 (秋田)
会計担当	高橋 徳一 (岩手)

板ガラス・アルミサッシ・プラスチック・各種卸・施工



株式会社 センソー

本社：〒983 仙台市宮城野区扇町5丁目3番38号
(化成品部) TEL 022-232-2255 FAX 022-284-8202
卸 町：〒983 仙台市若林区卸町3丁目5番地の8
TEL 022-232-2265 FAX 022-283-0639
山形支店：〒990 山形市元木2丁目13番24号
TEL 0236-22-0201 FAX 0236-22-0204

意義多い大会を目指す

宮城県屋外広告美術協同組合

理事長 狩野 壽一

阪神大震災は、戦後の焼け野原になった東京を見る思いでありました。連日のテレビ画面は、痛ましい限りであります。家族を失ない、家を失ない、資産の多くを失なった人々は、途方にくれる思いだったと思います。然し、一ヶ月を過ぎようとしている現在、たくましく生き抜きつつある姿を目に出来、人間としての強さを感じます。

いきている限り、災害の大小、精神的な苦痛の大小はあったとしても、それぞれが経験し万物の霊長としての強さをそなえて来ている為に、強くなつて明日に向かうのであります。毎日が新たな経験であります。前途には、目に見えないものが数限りなくあるとしても、足跡だけは残ります。

希望を抱いて向かう明日は、尊い歴史をつくる今日があるからであると信じます。

現在、宮広美が抱えているテーマは、何んと云っても東北地区連の皆様の協力を得ながら六月五日(ゴルフ大会)を皮切りに始まる第三十七回日広連全国大会を成功裡に開催し終了させることにあります。

宮広美としての準備会は、定例の理事会や組合行事の合同をぬって開催し

て参りましたが、現在は準備会の合同をぬって理事会や組合行事を開催しております。準備会の皆様には、大変ご苦勞をかけておりますが、苦勞の度合が大きいからと云って成功する保障のないことも知っております。唯、参加して下さる皆様に喜んで貰える喜びを信じて準備をしております。前回の素晴らしかつた岩手大会を主管なさいました岩広美の皆様に、心から敬意を表す次第であります。

また、皆様にお願いは、各単組の理事長さんが各部署の委員長さんとして敏腕を振って頂いております。更に、一人でも多くの協力を参加につきましても、要請をして頂いていることにも深く敬意を表します。

間もなく、大会の骨組の全貌が提示出来きます。大会まで残された月日は少ないとしても大会前日迄、喜んで貰える大会、意義多い大会を目指すアイデアのプラスは、プラス出来る分野では、大いに歓迎をしたいと思っておりますので、大いにアドバイス下さいませことをお願い申し上げます。

最後に、各単組の皆様と、地区連の益々の御発展を祈念いたします。

組織について

岩手県屋外広告美術協同組合

理事長 高橋 徳一

組織とは人間を相手にし、人間の力を結集して事業を遂行することだが、人間を中心とした生きざまは人間の心を切り離しては考えられない。したがって人間の心の奥底、いわ

ゆる心理に従った活動が求められる。人間の心はわかっているようだが、落ちついて考えて見ると、まだまだ浅くしかわかない。考えれば考えるほど人間の心にはもっとも奥

深いものがあり大変な力をもっているような気がする。

その中でも、組織にとってもっとも重要と思われるのは信念である。

信念には奇跡を生み出す力があるように思う。信念が奇跡を生むことは、昔から言い伝えられている。

信念とは、人間の心のエネルギーを一つのものに集中することによってよいであろう。

これをたとえて言えば、私たちは太陽の光を見て生きているが、私たちの体に直接当たる太陽の光りはかなり熱をもっている、夏の海岸などでは皮膚を焦がし、黒くする力を持っている。しかし冬の陽差しではごく弱い温度しか、私たちに与えてくれないような気がする。

しかしながら、凸レンズで太陽の光を集め、一点に集中してみると、それは非常に高い熱を発生し、紙をこがし、そして炎となるエネルギーがある。

人間の心も分散しバラバラになっていると、まったく弱いエネルギーにしかならない。

ところが、そのわよわよわしいエネルギーを一点に集中することができれば、あたかも太陽の光を凸レンズで集めたように非常に高熱を発生し、炎となつて燃えることができるのである。

指導者の信念は、ときと場合によっては、私たちの心に点火し、発火させ、時には爆発させるエネルギーを生む力をもっているのである。

人間一人ひとりもっているエネルギーは、人によってそれほど極端に大

きな差がないように思われる。そのエネルギーが分散して弱よわしい光となつて周辺を照らすか、一点に集中して強烈な光となつて発するかは、結局のところ指導者の信念次第になるわけである。

信念、つまり一辺にエネルギーを集め、パワーを結集するには、他のことに使用するエネルギーをカットしなければならぬ。

ただ一点に集中するわけであるから、他のことについては禁欲になるわけである。したがって信念の人、信念の指導者は、禁欲的な指導者といつてよいと思う。

禁欲の状態は、普通の人から見ると、他のことを一切忘れ、狂気のように、ただ一点だけを見つめているようなものだから、一寸見ると発狂したのではないかと周囲の者が心配するような状態がまま出てくると思う。

指導者に限らず何事かを成し遂げようとする人は、すべて「狂」という字がつくように思う。発明狂というように一つのことに打ち込み、他のすべてを忘れ、見向きもしない状態は、確かに「狂」に値すると思う。

しかし、ここで言う「狂」とは精神錯乱、精神異常を言っているのではない。人なみはずれたエネルギーを集中させ、行動した状態を、たまたま「狂」という言い方で表現したにすぎない。

いま私たちの求めているものは、或いは「狂」という名の指導者なのかも知れない。

組合員の強い連帯を

秋田県屋外広告美術協同組合

理事長 石黒 征幸

秋広美の平成七年度の事業計画の基本的な考え方は、次のとおりとしている。

「平成六年度の国の経済は、概括す

れば猛暑と減税効果により一部に景気回復の兆しが見えたとは云うえ、中小企業においてはその波及の外にあり、回復を実感できないまま越年したが、平成七年度においても先行き不透明な状況下にある。

また、円高を背景として国内産業の空洞化、規制緩和による競争の激化、国際化の進展などによる企業の広報活動の制約は、屋外広告業界に直接、間接の影響をもたらす。その同行はますます厳しさを増す傾向にある。加えて、都市景観、環境保全、自然保護など住環境に対する保護改善が国の対策をはじめ市民的要請として醸成されつつある。

一方、業界に内包する労働時間短縮職場環境の改善など経済的、社会的環境の変化への対応など今後の課題となるところである。

このような現状の下、業界にあっては業種の確立、屋外広告士資格の有効な活用と併せ経営資源としての人材の確保をはかるなど事業の維持・発展の対応が急務となっている。

かかる時勢にあって、組合員は組合組織を活し、相互の力を結集して、個々の経営の発展強化をはかるべく、平成七年度の各委員会の重点実施事項を設定する。

以上が本年度わが組合が事業運営上の基本とするところであるが、そもそも「協同組合」誕生の由来は、資本主義経済社会における経済的弱者が力を出し合い結果として、社会的、経済的地位の向上をはかることを目的としたものである、ということこそ現代社会にあって忘れてはべきではない。この基本理念を遊離するところに個人的メリット

の追求や組合離反の行為が生ずることになる。組合員の強い連帯感を希求する所以である。

組合の総会において、また地区連大会、はたまた全国大会を機とし、広く

組合員同志が集う謂れを理解することは、この意味において重要なことといわねばならない。

本年度は、東北地区南3県のホストとなる全国大会が運営されるが、準備万端怠りない努力は必ずや成功裡に打ちあげがみられるものと確信するところである。

当組合では、二年がかりの受注工事であった「あきたふるさと村」のサイ工事が、組合員三十七年による共同受注で行ったが最後までトラブルがなく極めてスムーズに完工をみたことは、組合員の平常の自覚の賜として、敬服するものである。

この事業の成果としての果実が、絶えて久しかった組合員全員の一泊二日の研修視察旅行の実現となったことは、近年の組合行事として大書してよいものと自負している。

かかる実績の積みあげこそが、組合員、組合ともに自信につながり、連帯意識への萌芽となり、親密度の濃さを増殖するものとして、今後の指針とするところである。

各委員会開催報告

事業厚生委員会

六月二七日

山形市オーヌマホテル

技能開発委員会

七月八日 秋田市弥高会館

行政・対策・組織振興・

経営労務合同委員会

七月一九日

仙台市五ツ橋 会館

情報文化委員会

六月二四日

仙台市 庄一泊 茂庭



東北地区屋外広告美術業組合連合会

第37回 日広連全国大会

平成7年6月6日(火) 宮城県松島町「ホテル大観荘」

皆様のご参加を心からお待ちしております

東北地区屋外広告美術業組合連合会 会長 須賀政雄

宮城県屋外広告美術協同組合 理事長 狩野寿一
山形県屋外広告美術協同組合 理事長 田中滋郎
福島県屋外広告美術協同組合 理事長 遠藤光晴

青森県屋外広告美術業協同組合 理事長 千葉裕
秋田県屋外広告美術協同組合 理事長 石黒征幸
岩手県屋外広告美術業協同組合 理事長 高橋徳一

—— みらのくは、奥の細道 日本三景 松島で大会開催 ——

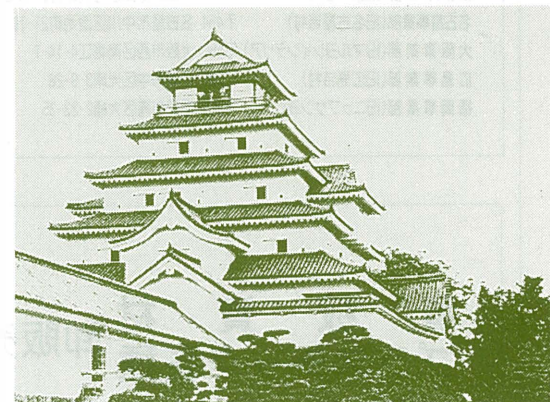
第37回 日広連全国大会ご案内

大会／6月6日(火) ホテル松島大観荘
観光／6月7日(水)～6月8日(木) 山形コース・福島コース

大会は平成7年6月6日(火) 松島「ホテル大観荘」に於て、東北地区連のホストにより開催されます。
同ホテルは平成6年7月末改装グランドオープンしたばかりで、松島の景観を眼下に宿泊・宴会・会議等幅広く利用出来るリゾートホテルであり、素晴らしい景観におもてなしの心を添えて皆様をお迎えいたします。
懇親会は同ホテル 千代の間に於て郷土色豊かな懇親会を開催したす様準備いたしておりますのでご期待下さい。
観光の山形コースは、芭蕉ゆかりの古刹の全景がまさに一幅の水墨画のような山寺は神秘をたたえる山岳密教の静寂の世界を感じさせます。また、歴史のロマン街道、神々の里、出羽三山の羽黒山は美しい杉並木が続く修道の山で、2446段を数える石段の登り口にある五重塔は東北最古の塔で国宝に指定されており、石段の両脇には特別天然記念物指定の約100本の大杉の樹木が立ち並び荘厳さをかもしだしています。
観光の福島コースは、会津の歴史を禁いた難攻不落の名城、博物館と展望台のある会津のシンボル鶴ヶ城、会津の城下町を見下ろす白虎隊士永眠の地飯盛山、福島県の生んだ偉人野口英世の生涯を詳細に展示した野口英世記念館、等歴史深かいみらのく路でございます。その他皆様方と交流を深めるゴルフコースも用意万端整えて皆様のおいでをお待ちいたしておりますので、ぜひみらのく大会に御参加下さいます様ご案内申し上げます。



山形 羽黒山(出羽三山)



福島 鶴ヶ城

- **大会** 平成7年6月6日(火) 受付＝午後1時より
ホテル松島大観荘
(宮城県宮城郡松島町字犬田10-76/TEL 022-354-2161代)
閉会 午後3時～午後5時30分
〔婦人のつどい 午後3時～午後5時30分
塩釜神社～円通院(ミニ茶会)他〕
- **懇親会** 平成7年6月6日(火) 午後6時30分より ホテル松島大観荘
- **宿泊** ホテル松島大観荘
- **ゴルフ** 平成7年6月5日(月) ニューワールドGC 8時スタート
仙台白衣大観音が見下す雄大なゴルフコース
(前日の宿泊はニューワールドホテルを用意いたしております。)
- **観光** 6月7日(水)～6月8日(木) 山形コース・福島コース

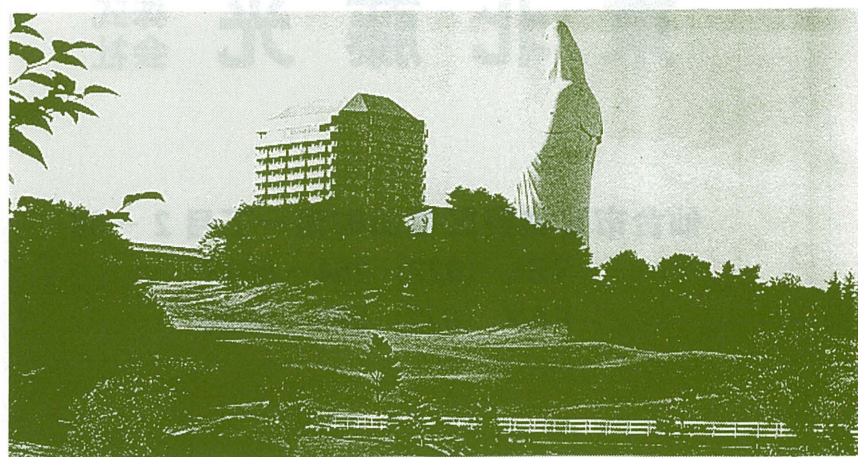
■ 参加料金

参加区分	申込区分	参加料合計
A. 大会・懇親会	個人	35,000
	同伴	70,000
B. 大会・懇親会・宿泊	個人	48,000
	同伴	106,000
C. 大会・懇親会・宿泊 山形コース	個人	48,000+54,000=102,000
	同伴	106,000+118,000=224,000
D. 大会・懇親会・宿泊 福島コース	個人	48,000+55,000=103,000
	同伴	106,000+120,000=226,000

※ 受付での混雑防止のため、申込時に参加料全額をご納付願います。

記念ゴルフコンペ 参加料 ¥39,500

※ ゴルフ料金には、6月5日宿泊費、プレー代、懇親会費、諸経費が含まれています。



ニューワールドゴルフコース

お申込みはお早めに！

●申込締切日
1995年4月15日(土)

奥の細道、味のみちのく路でお会いしましょう

第37回全国大会ゴルフ大会開催のご案内(予定参加者80名)

日時	平成7年6月5日(月曜日)		
場所	宮城県仙台市泉区実沢 ニューワールドゴルフクラブ		
宿泊	ニューワールドホテル		
参加費	前日宿泊参加者	¥51,500	
	当日 " "	¥39,500	
	宿泊なし	¥25,500	
表彰式	ニューワールドホテル懇親会会場		
表彰	1~30位 入賞	35~75位 飛賞	37位 大会記念賞
	アトラクション	12ホール 他	各賞及び参加賞

IN-FOR-MA-TION

- ◎飲食代、売店での購入代金は各自御精算をお願い申し上げます。
- ◎宿泊参加者は、プレー代、ホテル代(朝食代)、懇親会費、参加料、本大会会場までの交通費を含む。
- ◎宿泊なしの参加は、プレー代、懇親会費、参加料が含まれております。会場までの交通費は含まず。
- ◎ホテルの宿泊は原則。ツインとなりますので御了承願います。シングルは¥5,000 UPです。
- ◎6月4日、6月5日の夜の仙台散策御希望の方は申し込み時に具体的希望をお知らせください。
- ◎6月6日日本大会前にゴルフを御希望の方は(別コース含む)宮広美事務局までお知らせ下さい。
- ※出来る限りの準備手配をいたしますので、早めに御希望をお知らせ下さい。(実行委員会)



ブランド名から、社名へ。
ニップコーポレーション誕生。

株式会社 ニップコーポレーション
仙台事業部

本社	〒171 東京都豊島区南池袋2-29-13	TEL (03)5952-5501(代表) FAX (03)5952-1051
仙台事業部(旧仙台吉村)	〒983 仙台市若林区大和町3-4-20	TEL (022)232-7411(代表) FAX (022)238-0271
東京事業部(旧東京吉村)	〒171 東京都豊島区雑司が谷3-13-5	TEL (03)3987-3361(代表) FAX (03)3987-4734
名古屋事業部(旧名古屋吉村)	〒454 名古屋市中川区澄池町21-19	TEL (052)362-2211(代表) FAX (052)362-9554
大阪事業部(旧マルヨシインテリア)	〒550 大阪市西区南堀江4-14-1	TEL (06) 541-4351(代表) FAX (06) 541-4350
広島事業部(旧広島吉村)	〒730 広島市中区光南3-9-28	TEL (082)244-5751(代表) FAX (082)244-5770
福岡事業部(旧ニップサンヨ)	〒815 福岡市南区大楠2-23-35	TEL (092)521-1521(代表) FAX (092)522-0591

看板資材 卸販売
プラスチック各種

上記の事ならなんでも気軽に御相談下さい。

東北藤光 株式会社

仙台市宮城野区福田町南一丁目2-46
TEL (022) 254-0611
FAX (022) 254-0608

私たちは、メーカーさんと共に
“お客さまを大切に”
サービスをモットーにしています。

主な代理店

アサヒ金属(株)……スバンドレール
旭光電機工業(株)……イルミ各種サイン球
岩崎電気(株)……水銀灯、ハロゲンランプ
協和電工(株)……看板用蛍光灯ホルダー
(株)三陽電機製作所……屋内・屋外ネオントランス
立山アルミニウム工業(株)……アド・フレーム
(株)中川ケミカル……タフカルフィルム、カッティングシート
筑波ウシオ電機(株)……ストロボ、フラッシュランプ!

ネオン、看板用電設資材全般

阿部電材株式会社

本社/〒173 東京都板橋区弥生町72番8号
TEL 03(3974)4021(代) FAX 03(3974)4434

東北営業所/〒983 仙台市若林区卸町東5-7-29
TEL 022(288)1271(代) FAX 022(288)1273

— 皆様のニーズとサービスを求めて —

看板資材総合商社

株式会社 弘栄産商

代表取締役 武田 龍生

〒983 仙台市宮城野区東仙台5-38-16
TEL 022-295-2255 FAX 022-295-2257